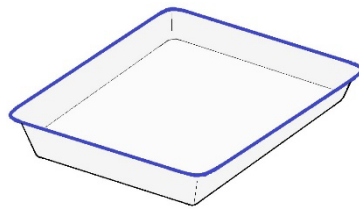
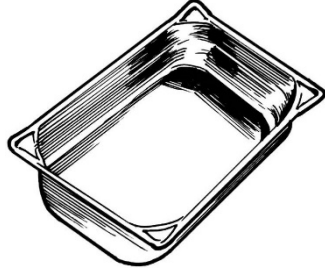


電気用品の技術基準の解説

現状解説 (解説本 第16版 826 ページ)	改訂した解説	理由																																																
<p>別表第八附表第三 絶縁性能試験 (解説) 1.~5. (省略)</p> <p>6. [6 耐湿絶縁試験] (2)の、「沸騰水を入れた容器」とは、約80%の量の沸騰水を入れた庫内の床面積に近い大きさの容器をいい、次の表の写真用バットを使用する。</p> <p style="text-align: right;">(単位：mm)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>横</td><td>150</td><td>260</td><td>290</td><td>370</td><td>410</td><td>500</td><td>760</td></tr> <tr><td>縦</td><td>120</td><td>160</td><td>230</td><td>320</td><td>420</td><td>520</td><td>600</td></tr> <tr><td>深さ</td><td>30</td><td>30</td><td>45</td><td>50</td><td>60</td><td>60</td><td>90</td></tr> </table>	横	150	260	290	370	410	500	760	縦	120	160	230	320	420	520	600	深さ	30	30	45	50	60	60	90	<p>別表第八附表第三 絶縁性能試験 (解説) 1.~5. (省略)</p> <p>6. [6 耐湿絶縁試験] (2)の、「沸騰水を入れた容器」とは、約80%の量の沸騰水を入れた庫内の床面積に近い大きさの容器をいい、次の表の寸法に近い写真用バット又は製品に附属する容器のいずれか大きい方を使用する。</p> <p style="text-align: right;">(単位：mm)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>横</td><td>150</td><td>260</td><td>290</td><td>370</td><td>410</td><td>500</td><td>760</td></tr> <tr><td>縦</td><td>120</td><td>160</td><td>230</td><td>320</td><td>420</td><td>520</td><td>600</td></tr> <tr><td>深さ</td><td>30</td><td>30</td><td>45</td><td>50</td><td>60</td><td>60</td><td>90</td></tr> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>写真用バットの例</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>製品に附属する容器の例 (電気温蔵庫に附属するホテルパン)</p> </div> </div>	横	150	260	290	370	410	500	760	縦	120	160	230	320	420	520	600	深さ	30	30	45	50	60	60	90	<p>表よりも庫内床面積がかなり大きい(又は小さい) 製品が存在すること、「写真用バット」に JIS 規格が存在せず、市販されている「写真用バット」のサイズがまちまちであり表どおりの大きさのものを簡単に購入できないことから、製品での使用が考えられる最大の大きさの容器を使用できるように提案する。</p>
横	150	260	290	370	410	500	760																																											
縦	120	160	230	320	420	520	600																																											
深さ	30	30	45	50	60	60	90																																											
横	150	260	290	370	410	500	760																																											
縦	120	160	230	320	420	520	600																																											
深さ	30	30	45	50	60	60	90																																											

(当該部解釈)

6 耐湿絶縁試験

(2) 沸騰水を入れた容器を器具の庫内等に入れ、定格周波数に等しい周波数の定格電圧に等しい電圧を連続して2時間加えた後、通電を停止した状態において2時間経過した時の500ボルト絶縁抵抗計により測定した充電部と器体の表面との間の絶縁抵抗は、二重絶縁構造のものにあつては3MΩ以上であり、その他のものにあつては1MΩ以上であり、かつ、2(3)の表に掲げる交流電圧を充電部と器体の表面との間に加えたとき、連続して1分間これに耐えること。